

**6月5日**  
川湯の発展と活性化に尽力  
国立公園川湯地域運営協会が30周年



阿寒国立公園川湯地域運営協会(福田英敏会長)設立30周年記念式典が6月5日、川湯温泉のホテルで行われました。福田会長は「これまで活動を行ってこれたのも、歴代会長や地域の皆さんのおかげ。今後も『朝の散策で光を見た』と言われるような活動を続けていきたい」と式辞を述べました。表彰式では、長年にわたって美化活動を行っている鈴木由美子さんと散策ガイドのメンバー5人に賞状が贈られました。式典最後には、ガイド代表の佐々木三千男さんが「散策事業を長く続けて、美しい自然環境を守り続けたい」と、ちかいのことばを述べました。

**6月2日**  
育てるのが楽しみ  
アロニアの苗木を無料配布



苗木の無料配布会が6月2日、役場前と川湯支所前で行われました。苗木の無料配布会は、町内の緑化推進のために毎年行われています。配布されたのはアロニアというバラ科の果樹の苗木で、両会場で200本が用意されました。寒さに強く丈夫で、実も楽しめるそうです。会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

**6月13日**  
みんなで楽しみながら社会に貢献  
初めての虹のわマーケット



第1回2010虹のわマーケットinてしかが(実行委員会主催)が6月13日、道の駅摩周温泉そばで開催されました。実行委員会の中心となったのは、子育て中のお母さんたち。楽しみながら社会貢献もできる催しをと、今回初めて開催したものです。フリーマーケット出店料の半分のてしかが冒険隊など実行委員会が選定した3団体に寄付したほか、当日は会場でも参加者に寄付を呼び掛けました。この日は、雑貨や手作りお菓子など個性豊かな20店以上が出店したほか、紙芝居屋さんやジャンケン大会など多彩な催しが行われ、多くの人でにぎわいました。

**6月11日**  
これからも安全運転お願いします  
交通死亡事故ゼロ700日達成で表彰



弟子屈町が6月3日、交通死亡事故ゼロ700日を達成し、北海道交通安全推進委員会(南山英雄会長)から表彰状が贈られました。伝達式は6月11日、役場で行われ、増本弘次釧路総合振興局保健環境部長から町交通安全運動推進協議会会長の徳永町長に表彰状が手渡されました。町内での交通死亡事故は、平成20年7月2日に美留和原野の国道243号で起きた、乗用車と大型トラックの正面衝突事故以来発生していません。今後も事故が発生しないよう、皆さんで交通安全に取り組んでいきましょう。

**6月17日**  
歯の健康に関する図画・ポスターコンクール  
昭栄小の小澤きよねさんが優秀賞受賞



平成22年度歯の衛生週間図画・ポスターコンクール(釧路歯科医師会主催)で、昭栄小学校6年の小澤きよねさんが優秀賞を受賞し、6月17日に小林教育長に受賞の報告に訪れました。コンクールは歯の衛生週間行事の一環として、釧路・根室管内の小学生を対象に毎年行われています。小澤さんは「むしばから歯を守れ!」というテーマで水彩ポスターを応募。31校1,836点の応募の中から、見事優秀賞に輝きました。受賞は昨年の最優秀賞に続いて2度目です。小澤さんは「絵を描くのが好きなので、無心になって描きました」と喜びを語りました。

**6月13日**  
大切な魚資源を守りたい  
屈斜路湖の魚を育てる会がニジマスを放流



屈斜路湖の魚を育てる会(保里秀一会長)の皆さんが6月13日、屈斜路湖にニジマスの稚魚約400キロ(約4万匹)を放流しました。同会では、遊漁振興に寄与したいと1999年から寄付を募り、屈斜路湖へのニジマスの放流を毎年行っています。今回も、昨年4月から今年の3月までの1年間で193件、59万円あまりの募金が集まりました。放流されたのは、体調10センチ程度の稚魚。無事に育つようお願いを込めながら、放流しました。

**5月12日**  
川湯はいい所です、ぜひ来てください  
川中生が札幌で地域の魅力をPR



川湯中学校(室山俊美校長)の3年生8人が5月12日、修学旅行で訪れた札幌で川湯の観光PRを行いました。郷土学習の集大成として行ったもので、昨年に引き続き2回目。2年生のときに活動を本格化させ、川湯温泉のホテル関係者などから助言をもらったほか、摩周湖農協や摩周湖観光協会などからも協力を得て準備してきました。当日は、JR札幌駅で手作りの巨大ポスターを掲示。特産品の摩周そばや観光パンフレットなどを行き交う人たちに手渡し「ぜひ川湯に来てください」と呼び掛けました。

**カメラスケッチ**  
広報マンが行く!!



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。  
企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

**5月23日**  
日ごろの文化活動の成果を披露  
チャリティ春のまつりにたくさんの観客



弟子屈町文化協会(勝山源三会長)主催の第16回チャリティ春のまつりが5月23日、福祉センターで行われました。同協会や各団体の活動成果の発表と、バザー収益の寄付を目的に毎年開催されているものです。芸能発表会には、パトントワラー弟子屈教室や生田流琴友会など13団体約100人が参加し、訪れた約200人の観客が盛んに拍手を送っていました。

**5月21~24日**  
広々とした牧場で草をはむ  
900草原に牛が入牧



5月21日から24日の日程で、酪農家で育てられた若牛が、家畜車で運ばれ、広々とした町営牧場・900草原へ放されました。今年は低温の影響で牧草の生育が心配されましたが、無事に入牧に間に合い、約1,400頭の牛が集まりました。これから栄養豊かな牧草を食べ、大きく成長し、秋にまた牛舎へ戻ります。

**6月1日**  
地域からより多くの自衛官を  
自衛官募集相談員に委嘱状を交付



自衛官募集相談員の委嘱状交付式が6月1日、役場で行われました。自衛官募集相談員は、自衛官を希望する方への情報提供など、自衛官募集に関する事務について地域での協力をお願いしている方で、任期は6月1日~平成24年5月31日の2年間。徳永町長と成清浩一自衛隊帯広地方協力本部長の連名により委嘱されます。今回委嘱されたのは、中村友一さん、山田定雄さん、奈良道憲さんの3人。今後2年間にわたって、募集広報について活動していただきます。

**5月23日**  
摩周湖や西別川の水環境を考える  
摩周・水・環境フォーラムを開催



別海、標茶、弟子屈の西別川流域3町民らでつくる摩周水系西別川流域連絡協議会など主催の第9回摩周・水・環境フォーラムが5月23日、公民館で開催されました。フォーラムには約40人が参加。摩周湖など道内6カ所でオゾン濃度を測定している道立総合研究機構・環境科学研究センターの野口泉さんが「対流圏オゾンとは」と題して講演を行いました。また、自然公園財団川湯支部の藤江晋さんが「摩周川と西別川」と題して、摩周湖の透明度調査などについて紹介しました。